

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 千鳥会	代表者	吉村 秀樹	法人・事業所の 特徴	「ぬくもり」の理念 <input checked="" type="checkbox"/> ぬくもりのあるサービスと <input checked="" type="checkbox"/> くつろげる雰囲気でもうひとつの我が家を <input checked="" type="checkbox"/> 利用者様と作っていきます をモットーに家庭的な雰囲気で、暖かい人のぬくもりを感じて頂けるように支援しています。ご本人・家族の必要に応じ随時、通い・訪問・泊まりの3つのサービスを柔軟に提供し、できるだけ住み慣れた地域で安心して生活が続けられるように、又ご家族の介護負担が軽減されるように努めています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 ぬくもり	管理者	片山 まゆみ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	2人	1人	1人	2人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	6④登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか	淡路学校支援地域本部事業活用を活かし 子供達(小学校)との交流は少ないが今年度は志筑小学校生徒と防災訓練アンケートから始まり、防災交流会や生徒訪問等で交流を実施。	今度も継続していく。	
			2・家族、利用者の初期支援が把握出来ていない事がある。 3・以前の暮らしが十分把握できていない。 4・本人を身近に支えている人々や社会資源等の把握が出来ていない。	2 職員会議で情報交換し、一人一人の思いを把握していく。 ・登録者の長期 短期目標を確認していくと共に再確認する ・プラン作成時にしっかり理解する。関わりの中で～したいを旨し関わって行く。 3・暮らしの情報を毎月回覧し、目に見えない部分を変更、追加確認し把握する。 ・暮らしの情報(築いてきたなじみの暮らし)ファイル、アンケート調査の結果を踏まえ職員会議共有把握していく。 4 休みの日の様子や社会資源等を把握する。 ・自宅での生活の様子ファイル、暮らしに必要な資源ファイルを追加し不足部分を補い関わりを持つ。
B. 事業所の しつらえ・環境	—	—	誰でも気軽に入って来て頂ける環境である。施錠はしていないが、時と場合により安全面を考え閉めている時あり。駐車場が狭く入りにくい部分はあるがスムーズに置けるようにしたい。交通の便が良い分交通量が多い為、陰な部分はあるが環境的には申し分ない。利用者、家族、地域の方々に気軽に入って頂ける環境作りを継続する。	

C. 事業所と地域のかかわり	—	—	小規模多機能ぬくもりの事を知らない方もいるのでPRしては。引き続きアピールができれば良い。来施時には心配事や困りごと等相談しやすい対応をしていきます。	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	—	—	利用者と散歩、地域活動、外出等の様子も見て頂いている。地域ケア会議や運営推進会議で地域の方と交えた会議と理解して頂き、天神地区との関わり等は更なる関係の構築が必要。	・地域ケア会議に参加し関わりを持つ。・情報の共有をする為にもぬくもりの相談ケース等を運営推進会議で報告する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	—	—	運営推進会議では現状と課題や取り組みを積極的に報告し共有できる場の為今後も連絡し合える会にする。参加者メンバーと何でも相談できる関係作りを図り、今後も継続して行く。	
F. 事業所の防災・災害対策	③施設の消防訓練に参加した事がないので案内文配布し一人でも参加して頂くようにする。	③施設の消防訓練に案内文配布し訓練に参加して頂いた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の防災計画をしらない。</li> <li>・天神地区の防災訓練があれば参加を。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災計画を運営推進会で具体的に説明する。</li> <li>・地域の防災訓練に参加については、連携を図り積極的に地域に出向く。</li> </ul>